NSP120-6005419･6005467～6007614/ NCP120-6003282～6004537,6004539～6004545/NCP125-6001561～6002274

2011年11月以降

ドアポケットに入れてお使いください

クイックユーザーガイド

このクイックユーザーガイドは、運転者ならびに同乗者の方に
TREZIA を楽しく安全にお使いいただくためのガイドです。
初めて TREZIA に触れられるときにぜひご一読ください。

クイック ユーザーガイドは取扱説明書の抜粋版です。必ず取扱説明書をご一読ください。

運転席まわり

このクイックユーザーガイドは
基本的な操作説明を中心とした取扱説明書の抜粋版のため
取り扱い時の注意点や詳細な説明は省略しております。
必ず取扱説明書をご一読ください。
ドアポケットなど取り出しやすいところに入れて
お使いください。

★一部グレードのみに装着されている機能･装備ついては ✤マークがついています。詳しくは取扱説明書をご覧ください。

1 各部の開閉

★一部グレードのみに装着されている機能・装備ついては マークがついています。
詳しくは取扱説明書をご覧ください。

A ドアの施錠・解錠

キーレスアクセスによるドアの施錠・解錠

ドアの解錠・施錠(フロント席ドアハンドルのみ)

解錠 アクセスキーを携帯し、ドアハンドルをにぎると解錠できます。

アクセスキー　ドアハンドルを握る

施錠 アクセスキーを携帯し、ドアハンドル表面のロックセンサー部に触れると施錠できます。

アクセスキー　ドアハンドル表面のロックセンサー部に触れる

リヤゲートの解錠・施錠

解錠 アクセスキーを携帯し、リヤゲートオープナースイッチを押すと解錠できます。

アクセスキー　リヤゲートオープナースイッチを押す

施錠 アクセスキーを携帯し、ロックスイッチを押すと施錠できます。

アクセスキー　ロックスイッチを押す

ワイヤレスリモコンによるドアの施錠・解錠

アクセスキーまたはキー（ワイヤレス機能あり）のボタンを押すと、電波により車から離れたところから、すべてのドアおよびリヤゲートの施錠・解錠ができます。

心臓ペースメーカーなど医療用電気機器に影響を及ぼす恐れがあります。
詳しくは、取扱説明書第1章をご覧ください。

アクセスキー　キー(ワイヤレス機能あり)

すべてのドアおよびリヤゲートの施錠

すべてのドアおよびリヤゲートの解錠

B パワーウインドゥ

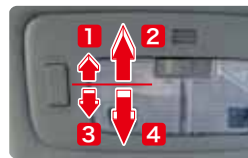
運転席ウインドゥスイッチ

1 閉める
2 自動全閉(運転席のみ)※
3 開ける
4 自動全開(運転席のみ)※

※途中で停止するときは、スイッチを反対側へ操作します。

ロックスイッチ

ロックスイッチを押すと運転席以外のウインドゥは開閉できなくなります。

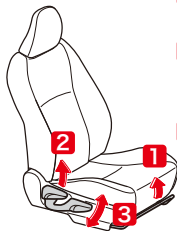
C パノラミックガラスルーフ電動サンシェード

電動サンシェードスイッチ

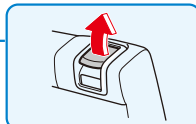
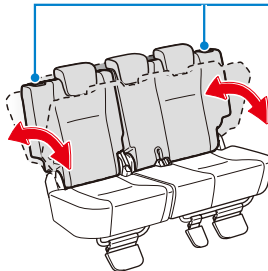
1 開ける
2 自動全開(長押し)※
3 閉める
4 自動全閉(長押し)※

※途中で停止するときは、スイッチをもう一度押します。

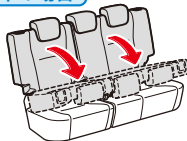
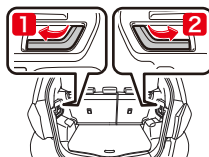
★一部グレードのみに装着されている機能･装備ついては マークがついています。
詳しくは取扱説明書をご覧ください。

D シートの調整

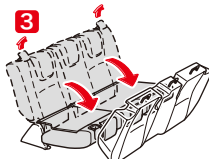
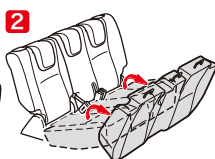
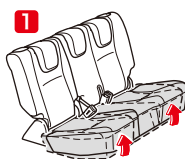
フロントシート

1. レバーを引きながら前後位置の調整をします。
2. レバーを引きあげた状態でリクライニング調整します。
3. シート全体の上下調整をします。レバーを引くたびに上がり、押すたびに下がります。(運転席のみ)

リヤシート

ロックが確実に解除されるまでレバーを引いた状態でリクライニング調整します。

背当てを倒し、荷室を広げる

2WD 車の場合

レバーを引きながら、背当てを前に倒してください。

1. 左側と中央席
2. 右側席

荷室のレバーを引くと背当てが前に倒れます。

AWD 車の場合

1. 座面前端を持ち上げてください。
2. 座面全体を前方に引き起こしてください。
3. ロック解除レバーを引きながら、背当てを前に倒してください。

E ミラーの調整

電動リモコンドアミラー

左右切り替えスイッチ L R で、調整するミラーを選びます。調整スイッチ MIRROR で ミラーの角度を調整します。

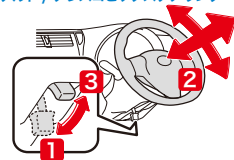
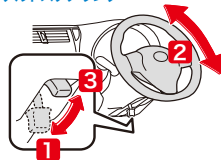
電動格納スイッチ

スイッチ を押すと左右のミラーが同時に格納されます。もう一度押すと元に戻ります。

F 光軸調整ダイヤル(ハロゲンヘッドランプ装着車)

乗車人数、荷物の積載状態に応じて、ヘッドランプの照らす高さを調節します(通常はダイヤル0の位置で使用)。数字が大きくなるほど、上向きを照らします。

G チルト／テレスコピックステアリング・チルトステアリング

チルト / テレスコピックステアリング

チルトステアリング

ハンドル位置を運転しやすいように調整できます。

1. ハンドルを持ち、レバーを下げます。
2. ハンドル位置を合わせます。
3. レバーを上げて、ハンドルを固定してください。

H エンジンの始動･停止

プッシュエンジンスイッチ

モードの切りかえ

ブレーキペダルを踏まずにプッシュエンジンスイッチを押すと、**OFF→アクセサリーモード→イグニッションON モード→OFF** の順にモードが切りかわります。

キーレスアクセス&プッシュスタートシステム表示灯の状態

OFF	消灯
アクセサリーモード ・ イグニッション ON モード	緑色にゆっくり点滅

エンジンの始動

①アクセスキーを携帯し運転席に座ります。
②パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
③セレクトレバーが P の位置にあることを確認します。
④ブレーキペダルを踏み込みます。(キーレスアクセス&プッシュスタートシステム表示灯が緑色に点灯します。)
⑤ブレーキペダルを踏んだまま、プッシュエンジンスイッチを押します。

ブレーキペダルを踏み込む

キーレスアクセス&プッシュスタートシステム表示灯が点灯

プッシュエンジンスイッチを押す

エンジンの停止

①車両を停止させます。
②セレクトレバーを P の位置にします。
③パーキングブレーキをかけます。
④ブレーキペダルから足を離します。
⑤プッシュエンジンスイッチを押します。
⑥キーレスアクセス&プッシュスタートシステム表示灯が消灯していることを確認します。

セレクトレバーが P 位置以外でもエンジンを停止することができますが、電源は「アクセサリーモード」になり、「OFF」にはなりません。
車両から離れるときは P 位置でエンジンを停止し、電源が「OFF」になっていることを確認してください。

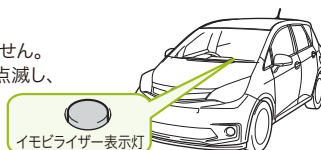
走行中プッシュエンジンスイッチを3秒以上押し続けるか、素早く3回連続で押すとエンジンが停止します。緊急時以外は本操作をしないでください。

強い電波ノイズや、アクセスキーの電池残量不足でアクセスキーが正常に作動しないときのエンジン始動

①セレクトレバーが P の状態で、ブレーキペダルをしっかり踏みます。
②アクセスキーのスバルエンブレム面で、プッシュエンジンスイッチにふれます。
③ブレーキペダルをしっかりと踏み込んで、キーレスアクセス&プッシュスタートシステム表示灯が緑色に点灯していることを確認します。
④プッシュエンジンスイッチを押してください。

イモビライザー(盗難防止用エンジン始動ロックシステム)

車両の盗難防止のため、登録されたキー以外ではエンジンの始動ができません。
イモビライザー表示灯は、プッシュエンジンスイッチをOFFにすると点滅し、アクセサリーモードまたはイグニッション ON モードにすると消灯します。

車両から離れるときは、車内にキーを残さないでください。

I パーキングブレーキ

パーキングブレーキをかける

①右足でブレーキペダルを踏みます。
②ブレーキペダルを踏みながら、左足でパーキングペダルをいっぱいまで踏み込みます。
(再度踏み込むと解除されます)

J アイドリングストップシステム

詳細は取扱説明書2章をご覧ください。

アイドリングストップとは、信号待ちや渋滞などで停車すると、燃費向上やアイドリング騒音低減のため自動でエンジンを停止・再始動させるシステムです。

アイドリングストップ､エンジンの再始動

走行　消灯
Dまたは S レンジ※1で走行

アイドリングストップ作動※2　点灯
ブレーキペダルを踏んで完全に停車すると、エンジンが自動的に停止します。

エンジン再始動※3　消灯
ブレーキペダルから足を離すと、エンジンが再始動します。

走行中

停車 アイドリングストップ

エンジン始動

●坂道でのアイドリングストップ

坂道でアイドリングストップした場合、ヒルスタートアシストが作動して、坂道発進時の後退を抑制します。(停車中はブレーキペダルをしっかりと踏み続けてください。)ヒルスタートアシストとは、アイドリングストップからブレーキペダルを緩めてエンジンが再始動する際、一時的にブレーキ力を保持するシステムです。

アイドリングストップシステムを非作動にするには

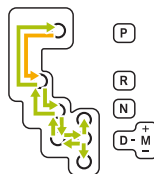
アイドリングストップ OFF スイッチを押します。
OFF にすると、メーター内のアイドリングストップキャンセル表示灯が点灯します。

アイドリングストップキャンセル表示灯
表示灯の位置は p.11 を参照

※1：P・N レンジでのアイドリングストップは、取扱説明書を参照してください。
※2：アイドリングストップ中の操作、アイドリングストップが作動可能な条件の詳細は、取扱説明書を参照してください。
※3：エンジン再始動条件の詳細は、取扱説明書を参照してください。

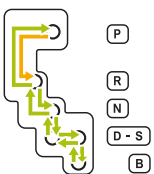
K セレクトレバー

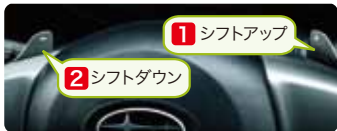
1.5ℓエンジン搭載車

1.3ℓエンジン搭載車

Ⓟ：駐車またはエンジン始動
Ⓡ：後退
Ⓝ：動力が伝わらない状態(中立位置)
Ⓓ：通常走行
Ⓜ：7速マニュアルモード走行

●マニュアルモードでの変速段切りかえ
セレクトレバーを Ⓜ の位置にして、セレクトレバーまたはパドルシフトを操作します。　詳細は取扱説明書2章をご覧ください。

Ⓢ：坂道走行
Ⓑ：急な下り坂走行

黄色矢印の操作
エンジンスイッチが「ON」(キーレスアクセス&プッシュスタートシステム装着車以外)またはプッシュエンジンスイッチがイグニッション ON モード(キーレスアクセス&プッシュスタートシステム装着車)の状態で、ブレーキペダルを踏んだまま操作します。

L パドルシフト

セレクトレバーが Ⓜ の位置で、シフトアップ／ダウンができます。
セレクトレバーが Ⓓ の位置でも走行中に任意の変速段を選択できます。 詳細は取扱説明書2章をご覧ください。

Ⓜポジションで走行しているときでも、エンジン回転数が上がりすぎそうなとき、または下がりすぎそうなときは、自動的に変速段が切りかわる場合があります。

M SPORTモード

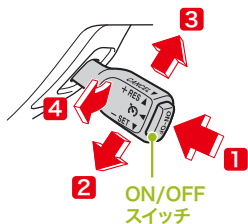
カーブの多い山道や高速での走行に適したモードです。

SPORT

SPORT モード表示灯
表示灯の位置は p.11 を参照

スイッチを押すとメーター内の SPORT モード表示灯が点灯します。
もう一度押すと通常走行モードへもどります。

N クルーズコントロール

アクセルペダルを踏まなくても一定の速度で走行できます。 詳細は取扱説明書第2章をご覧ください。

速度を設定する

1 ON-OFF スイッチを押して、システムを ON にします。
OFF にするには、再度スイッチを押します。

2 希望の速度まで加速または減速し、レバーを下げて設定します。
メーター内の"SET"表示灯が点灯します。

設定速度を変える

速度を上げる：+RES ▲ 3　速度を下げる：–SET ▼ 2

定速走行を解除する・復帰させる

解除：レバーを手前に引きます。4 (ブレーキペダルを踏んだときも解除されます。)
復帰：レバーを+RES▲方向に上げます。3

O AWDオートモードスイッチ

AWD オートモード表示灯
表示灯の位置は p.11 を参照

走行状況に応じて FF (前輪駆動) 走行と AWD (4 輪駆動) 走行を自動的に切りかえることができます。
スイッチを押して、AWD オートモードを「ON」にしてください。
AWD オートモード表示灯が数回点滅後、点灯します。再度押すと解除されます。

P VDC OFFスイッチ

TRC OFF表示灯

VDC OFF表示灯
表示灯の位置は p.11 を参照

TRC や VDC を停止するには VDC OFF スイッチを押します。
詳細は取扱説明書第2章をご覧ください。

TRC を停止するには

VDC OFF スイッチを押します。TRC OFF 表示灯が点灯します。
作動可能状態に復帰させるには、もう一度スイッチを押します。

TRC と VDC を停止するには

停車時にスイッチを押し3秒以上保持します。TRC OFF 表示灯と VDC OFF 表示灯が点灯します。
作動可能状態に復帰させるには、もう一度スイッチを押します。

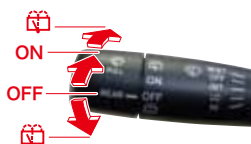
Q ワイパー＆ウォッシャースイッチ

フロントワイパー

レバーを押し下げる、または押し上げるとワイパーが作動します。

MIST	手動で作動
OFF	停止
INT	間欠作動
LO	低速作動
HI	高速作動

リヤワイパー

スイッチを回すと作動します。

(上側)	ウォッシャー液を噴射（ワイパー作動中）
ON	通常作動
OFF	停止
(下側)	ウォッシャー液を噴射（ワイパー停止中）

R フロントワイパーデアイサー

フロントガラスとワイパーブレードの凍結を防ぐために使用してください。
約１５分で自動的に OFF になります。

S ライティングスイッチ／フォグランプスイッチ

ライティングスイッチ

自動または手動でヘッドランプなどを点灯できます。

AUTO	センサー感知により自動点灯
≣D	車幅等･尾灯･番号灯･メーター照明･ヘッドランプが点灯
●	車幅等･尾灯･番号灯･メーター照明が点灯
OFF	消灯

ハイビーム／ロービーム

1. ライト点灯時にハイビームに切りかえます。
   レバーをもとの位置へ戻すとロービームにもどります。
2. レバーを引いている間、ハイビームを点灯します。
   ライトが消灯していても、ハイビームが点灯します。
   レバーを離すと、ロービームにもどる、または消灯します。

車から離れるときは、バッテリー上がりをふせぐため、必ずライティングスイッチを「OFF」にしてください。

フォグランプスイッチ

雨や霧などの悪天候下で視界を確保します。

≢D	点灯
OFF	消灯

ヘッドランプまたは車幅灯が点灯しているときに使用できます。

T マルチインフォメーションディスプレイ／時計／外気温度表示

イグニッション ON モード(キーレスアクセス&プッシュスタートシステム装着車)またはエンジンスイッチが「ON」(キーレスアクセス&プッシュスタートシステム装着車以外)のときに表示されます。

外気温度表示

時計

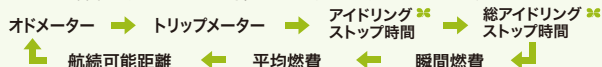
メーター左下の時計表示調整ボタンを押して、時刻を合わせます。

マルチインフォメーションディスプレイ

メーター右下の切りかえノブを押すごとに表示が切りかわります。

オドメーター → トリップメーター → アイドリングストップ時間 → 総アイドリングストップ時間 → 瞬間燃費 → 平均燃費 → 航続可能距離 → オドメーター

4 その他室内装備

★一部グレードのみに装着されている機能･装備ついては マークがついています。
詳しくは取扱説明書をご覧ください。

U エアコンの操作

マニュアルエアコン

A/C スイッチ
エアコンの ON/OFF を切りかえます。

内外気切り替えダイヤル
：内気循環 ：外気導入
※通常は外気導入をお使いください。

温度調整ダイヤル
設定温度を上げるときは右、下げるときは左へまわします。

吹き出し口切り替えダイヤル
吹き出し口を切りかえます。
- ：上半身に送風
- ：上半身と足元に送風
- ：足元に送風
- ：足元に送風・ガラスの曇りを取る
- ：ガラスの曇りを取る

風量調整（ファン）ダイヤル
風量を調整します。

リヤウインドゥデフォッガースイッチ
リヤウインドゥの曇りを取ります。作動中は表示灯が点灯します。

オートエアコン

設定温度に合わせて吹き出し口と風量を自動で調整します。

温度調整スイッチ
設定温度を上げるときは ︿、下げるときは ﹀を押します。

風量調整（ファン）スイッチ
風量を調整します。

AUTO スイッチ
オート設定で使うときに押します。（吹き出し口と風量が自動で調整されます。）

表示部

デフロスタースイッチ
フロントガラス、サイドガラスの曇りや霜を取ります。

OFF スイッチ
送風を停止します。

リヤウインドゥデフォッガースイッチ
リヤウインドゥの曇りを取ります。作動中は表示灯が点灯します。

花粉除去
上半身に送風して花粉を除去します。

A/C スイッチ
エアコンの ON/OFF を切りかえます。

吹き出し口切り替えスイッチ
吹き出し口を切りかえます。
- ：上半身に送風
- ：上半身と足元に送風
- ：足元に送風
- ：足元に送風・ガラスの曇りを取る

内外気切り替えスイッチ
：内気循環
：外気導入
※通常は外気導入をお使いください。

5 メーター・表示灯・警告灯

★グレードにより装備されていない機能もありますが、レイアウト上全ての表示灯・警告灯を記載しています。詳しくは取扱説明書をご覧ください。

1 ブレーキ警告灯
駐車ブレーキがかかっているとき点灯。ブレーキ系統の異常／ブレーキ液の不足のとき点灯。

2 ABS&ブレーキアシスト警告灯
アンチロックブレーキシステム（ABS）異常時に点灯。ブレーキアシストの異常時に点灯。（VDC 装着車）

3 AWD※警告灯 4WD
AWD システムの異常時に点灯。駆動系の発熱時に点滅。※AWD は All Wheel Drive の略、4WD は 4Wheel Drive の略、どちらも同じ 4 輪駆動の意味です。

4 高水温警告灯
エンジン冷却水高温異常のとき点灯・点滅。

5 オイルプレッシャー警告灯
エンジンオイルの圧力に異常があるとき点灯。

6 チャージ警告灯
充電系統に異常があるとき点灯。

7 エンジン警告灯
エンジン電子制御システム異常、電子制御スロットルの異常、オートマチックトランスミッション電子制御システムの異常時点灯。

8 SRSエアバッグ/プリテンショナー警告灯
エアバッグシステムの異常、プリテンショナー付きシートベルトシステム異常時に点灯。

9 クルーズコントロール表示灯
クルーズコントロールシステムに異常があるとき点滅。クルーズコントロールが ON のとき点灯。

10 オートヘッドランプレベライザー警告灯
自動光軸調整システムの異常時に点灯。

11 キーレスアクセス&プッシュスタートシステム表示灯
エンジン始動時、緑色に点灯。ステアリングロック未解除で、緑色に早点滅。システム異常時に黄色点滅。その他キーの状態により黄色点滅。詳細は取扱説明書を参照。

12 VDC作動表示灯
VDC、TRC 作動時は点滅。VDC システム、TRC システムに異常があるとき点灯。

13 ステアリング制御警告灯
EPS（エレクトリックパワーステアリング）に異常があるとき点灯。

14 アイドリングストップキャンセル表示灯
アイドリングストップキャンセル時に点灯。
アイドリングストップシステム異常時に点滅。

15 シートベルト警告灯
運転席・助手席シートベルト未着用時に点灯。

16 半ドア警告灯
いずれかのドアが確実に閉まっていないときに点灯。

17 燃料残量警告灯
燃料残量が約 5.8 リットル以下になると点灯。

18 フロントフォグランプ表示灯
フロントフォグランプが点灯しているとき点灯。

19 低水温表示灯
エンジン冷却水が低いとき点灯。

20 SPORTモード表示灯 SPORT
SPORT モードを ON にしているとき点灯。

21 Info-ECO（インフォ・エコ）表示灯 ECO
D ポジションで作動。CO2 排出量の少ないエコドライブをしているときに点灯。

22 方向指示器表示灯
方向指示器と同じように点滅。電球が切れたときは点滅速度が早くなる。

23 ハイビーム／パッシング表示灯
ヘッドランプが上向きのとき点灯。
パッシング時も点灯。

24 TRC OFF表示灯 TRC OFF
VDC OFF スイッチを押して TRC を作動停止にしたとき点灯。

25 VDC OFF表示灯 OFF
VDC OFF スイッチを3秒以上長押しして VDC を作動停止にしたとき点灯。

26 “SET”表示灯 SET
クルーズコントロールで任意の車速をセットしたときに点灯。

27 AWDオートモード表示灯 AUTO
AWD オートモードを ON にしているとき点灯。

28 アイドリングストップ表示灯
アイドリングストップ作動中に点灯。

1～14 異常時に点灯／点滅。取扱説明書を確認の上、お近くのスバル販売店へご相談ください。

15～17 取扱説明書記載の正しい対応方法に従ってください。

18～28 各装置の状態を示します。

日常点検

日常点検とは、日頃ドライバー自身の責任で行うように法律で義務づけられた点検です。
安全に走行するために大切な項目ばかりですので、日常点検を実施するように心掛けてください。

点検方法はメンテナンスノート4章をお読みください。

エンジンルーム内

下記の項目の量を点検してください。
●エンジンオイル
●ブレーキ液
●バッテリー液
●冷却水
●ウインドゥウォッシャー液

運転席に座って

●エンジンのかかり具合、異音の有無を点検します。
●ブレーキペダルの踏みしろを点検します。
●ウインドゥウォッシャーの噴射状態を点検します。
●ワイパーの払拭状態の点検をします。

車のまわり

●タイヤの空気圧／き裂、損傷、異常摩耗がないか／溝の深さを点検します。

4輪とも必ず、指定サイズ、同一サイズ、同一メーカー、同一銘柄および同一トレッドパターン（溝模様）のタイヤを装着してください。
４輪とも同じタイヤを使用しないと、駆動システムを損傷したり、最悪の場合火災に至る可能性があります。

●各ランプ、方向指示器を作動させ、状態を点検します。
レンズの汚れ、損傷も点検します。

走行して

●ブレーキのきき具合を点検します。
●エンジンの低速および加速状態を点検します。
●運行において異常が認められた箇所を点検します。

困ったときのQ&A

Q アクセスキーまたはキー（ワイヤレス機能あり）でドアを解錠しても自動で施錠してしまう

A アクセスキーまたはキー（ワイヤレス機能あり）で解錠してから、ドア・リヤゲートを開けないまま約 30 秒たつと自動で施錠します。

Q セレクトレバーがシフトできない

A シフトロックシステムなどの故障が考えられます。ただちにスバル販売店で点検を受けてください。一時的な処置として、「ACC」、「アクセサリーモード」の状態でブレーキを踏み、シフトロック固定解除ボタンを押すと、ボタンを押しているあいだは、レバーをシフトできます。詳細は取扱説明書の5章を参照してください。

お問い合わせ、ご相談はお近くのスバル販売店、または下記の窓口へお願いいたします。

SUBARUお客様センター

SUBARUお客様センターでは下記の内容を承っております。
（1）ご意見／ご感想／ご案内（カタログ、販売店、転居お手続　他）
（2）お問い合わせ／ご相談

SUBARUコール 0120-052215

受付時間【平日】9：00～17：00
【土日祝】9：00～12：00、13：00～17：00

※平日の12：00～13：00および土日祝は（1）のインフォメーションサービスのみとなります。

富士重工業株式会社
スバルカスタマーセンターお客様相談部
〒160-8316 新宿区西新宿1-7-2（スバルビル）

お問い合わせ先スバル販売店

●スバル最新情報をインターネットで。 **www.subaru.jp**

富士重工業株式会社
スバルカスタマーセンター
〒160-8316 東京都新宿区西新宿1-7-2 スバルビル

発行2011年10月 Printed in Japan NK
Publication No. F4310JJ-A